【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2019-164354(P2019-164354A)
【公開日】令和1年9月26日(2019.9.26)
【年通号数】公開・登録公報2019-039
【出願番号】特願2019-79261(P2019-79261)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｆ　9/00　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/30　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1333　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/32　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　33/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｆ　9/00　３５０Ｚ
Ｇ０９Ｆ　9/00　３６６Ａ
Ｇ０９Ｆ　9/30　３０８Ｚ
Ｇ０９Ｆ　9/30　３６５
Ｇ０２Ｆ　1/1333
Ｈ０１Ｌ　27/32
Ｈ０５Ｂ　33/02
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ
Ｈ０４Ｍ　1/02　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月25日(2019.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
二つ折り可能なタブレット型端末は、
可撓性を有する発光パネルと、
前記発光パネルを支持する複数の筐体と、を有し、
前記複数の筐体は、並列に配置され、
前記複数の筐体のうち、前記発光パネルを折り曲げたときに対向する２つの筐体は互いに磁気によって固定され、前記固定された２つの筐体の向かい合う面が磁気を帯びている、二つ折り可能なタブレット型端末。
【請求項２】
請求項１において、
前記発光パネルはタッチパネル機能を有する、二つ折り可能なタブレット型端末。
【請求項３】
二つ折り可能なタブレット型端末は、
可撓性を有する発光パネルと、
前記発光パネルと重なる領域を有する、可撓性を有するタッチセンサと、を有し、

前記発光パネルを折り曲げたとき、前記発光パネルの曲面に沿って、前記タッチセンサの検出面が曲面を有する、二つ折り可能なタブレット型端末。

【請求項４】

請求項１乃至請求項３のいずれか一において、

前記タブレット型端末を使用しないとき、前記筐体を閉じた状態にする、二つ折り可能なタブレット型端末。

【請求項５】

二つ折り可能なタブレット型端末は、

可撓性を有する発光パネルと、

前記発光パネルと重なる領域を有する、可撓性を有するタッチセンサと、を有し、

前記発光パネルを折り曲げたとき、前記発光パネルの曲面に沿って、前記タッチセンサの検出面が曲面を有し、

前記発光パネルを折り曲げたとき、視認されない領域を非発光とさせ、視認する領域を発光させる、二つ折り可能なタブレット型端末。